

関経連 ABC プラットフォーム スタートアップ部会 ニュースレター

2021年12月23日(木)

公益社団法人 関西経済連合会 ABCプラットフォーム スタートアップ部会

プロジェクトマネジャー(PM) 阪急阪神不動産株式会社

URL: <https://www.abc-pf.org/category/startup>, E-mail: abcplatform@kankeiren.or.jp

◆はじめに

前回は2021年9月にニュースレターを発行させていただきましたが、それ以降の活動状況を発信させていただきます。ASEAN 各国とのスタートアップ紹介イベントも軌道に乗り、新ビジネス創出への第一歩となっていると期待しています。もしご興味のある内容などございましたら、連携を図れればと思います。

(PM 阪急阪神不動産、関経連事務局)

2021年10月～2021年12月の実施事項

◆第一回ベトナム-関西 スタートアップフォーラム

在大阪ベトナム総領事館、ジェトロハノイ事務所、ジェトロ大阪本部、関経連 ABCP 主催

2021年11月5日(金)に開催。ジェトロから、ベトナムのスタートアップの現状、そして J-Bridge の取組みについて紹介を受けたのち、厳選したベトナムのスタートアップ 5 社、及び大手企業 1 社のピッチを行った。



AI とソフトウェアが特化したスタートアップは、自動ナレーションによる日本語プレゼンテーションを開発しており、日本語の上手な外国人よりも日本語が上手と感じるほどだった。また、短期間に自動運転技術を開発し、実証実験まで進んでいるスタートアップもあり、ポテンシャルの高さをうかがえた。150 名を超える方々からの参

加登録をいただき、ベトナムのスタートアップに関する貴重な情報を数多くの方々に提供できたと思う。

<https://www.abc-pf.org/ja/report/?db=206&lang=ja&no=240>

◆シンガポール SWITCH 2021“EXPAND TO OSAKA, JAPAN”

大阪府、ジェトロ大阪本部主催

2021年11月8日(月)にオンラインで開催。



スタートアップ・エコシステムの国際化を実現するためには海外スタートアップやサポート機関の大阪への誘致、大阪企業とのビジネス創出が不可欠であり、大阪のビジネス環境や大阪の魅力を PR した。PM 阪急阪神不動産の高野氏は、大阪進出で活用できる施設紹介と実際に大阪進出したスタートアップの実例を紹介した。関経連からは ABCプラットフォームの取組みや、会員企業との連携の可能性について説明した。また、2025 年日本国際博覧会から 2025 万博の概要について紹介した。



イベント中または終わった後に参加者たちから積極的な問合せが続々と寄せられ、担当者はその対応に追われた。少しでも多くのスタートアップに大阪を意識していただけるよい機会になったと考える。

<https://www.abc-pf.org/ja/report/?db=206&lang=ja&no=270>

◆第一回タイ-関西 スタートアップ商談会

在大阪タイ総領事館，タイ国家イノベーション庁 (NIA)， 関経連 ABCP 主催

2021年11月26日(金)に開催。タイから4社、日本から3社が登壇し、7分間の英語ピッチを行った。その後、事前に募集した商談希望者とスタートアップが25分間のタイ語通訳付きの商談を持つ機会を提供した。時間内に8つの商談が生まれ、参加者は活発な議論を行った。中でも車部品に関する商談が前向きに進んでおり、フォローアップを行っている。



本イベントを通じて、タイでもAIとIoTを活用したスタートアップが続々と興ってきていることがうかがえた。日本からはABCプラットフォームに商材を登録し、東南アジア進出を希望しているスタートアップに登壇いただいたが、タイの財閥系企業が興味を示すに至っている。

<https://www.abc-pf.org/ja/report/?db=206&lang=ja&no=244>

◆第一回シンガポール-関西 スタートアップ商談会

エンタープライズシンガポール， 関経連 ABCP 主催

2021年12月7日(火)に開催。介護・高齢化にテーマを絞り、関連技術を有するシンガポールのスタートアップ5社に登壇いただいた。シンガポールは日本と同様に高齢化が進んでおり、その中でさまざまな新しい技術が開発されてきている。

見守り技術としては、カメラを使うものが一般的だが、カメラはプライバシーの侵害の問題があり、設置を嫌う場合があること、そもそも設置できない場所がある。そこで、叫び声や激しい咳をAIで認識する技術や、温度を認識する技術がスタートアップから提案されていることがわかった。

また、屋内搬送ロボットや脳波を解析するスタートアップに加え、キノコ由来マイコプロテインを使ったゆで卵を販売するスタートアップが登壇した。



<https://www.abc-pf.org/ja/report/?db=206&lang=ja&no=269>

追加された商材

ABCプラットフォームのウェブサイトでは、スタートアップ企業の商品・技術を商材として掲載し、ビジネスパートナーなどを探す試みを行っている。

<https://www.abc-pf.org/ja/report/?label=5>

1. Verily Vison(タイ)

ロジスティクスおよびサプライチェーン業界へのDX導入を実現している。車両ナンバープレートとコンテナ番号の自動認識が現在の主力ソリューションであり、政府向けのDXソリューションの実績もある。数々の受賞があり、実力は広く認められている。

2. Auto Parts(タイ)

オンラインの自動車部品取引およびワークショップ管理プラットフォームを通じて、自動車アフターマーケット業界を変革することを目標にしている。

3. ENRES(タイ)

IoT と AI テクノロジーによって、建物や工場の施設の管理、分析、制御を支援する「AIoT プラットフォーム」を構築しており、全ての施設設備に接続し、行動データを自動的に処理することで、使用エネルギーの節約を行う。

4. Techmetics Robotics (シンガポール)

病院や介護施設における食事や薬、検査検体、およびリネンや廃棄物などの屋内自動搬送ロボットを開発製造している。最大積載重量は 250kg、最高速度は 1.5m/秒、フル充電で 13 時間の走行が可能かつ、スマートフォン操作が可能である。

5. Neeuro (シンガポール)

AI による Brain-PC interface(BCI)と脳波解析をベースに、脳健康を訓練・維持するためのデジタル・セラピー・ソリューションを構築。高齢者が精神的にアクティブで健康であるためのソリューションを提供する。

6. Soundeye (シンガポール)

音の認識技術をコア技術とし、叫び声、激しい咳、爆発音などの異常な音を検出する安全管理システムを提供している。現在、空港、老人ホーム、孤児院などの多くの場所で採用されており、24 時間体制で居住者の安全を確保し、インシデントに迅速に対応することが可能となっている。

7. Illuminating Asia/ HeatSig (シンガポール)

天井など設置した熱センサーが 728 点にわたる温度を捉え、人や特定の物体を識別し、ダッシュボード上に色付きのヒートマップを作成できます。異常があれば(例えば、特定の時間トイレで人が動かないなど)、直ちにアラートを発信できます。

8. Osome Food(シンガポール)

高齢者に最適な、免疫を賦活する食品を提供しています。Osome Egg はキノコ由来のマイコプロテインを原料にしたゆで卵であり、すでにシンガポールにて販売を開始しています。

9. Ubuntu Hub(日本、京大発)

インターネットに接続されていない地域の学習者がオンライン教育にアクセスできるよう、ワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN)を構築する。現在、ナイジェリアを対象にパイロット試験中である。

企画中の案件

ASEAN ユニコーンの大阪(関西)誘致可能性調査

シンガポールのスタートアップに明るいコンサルタントに委託し、ユニコーンまたは準ユニコーンに直接働きかけて、大阪(関西)への進出・誘致の可能性を探る試みである。ユニコーンが一つでも大阪進出すれば、大きなインパクトとなり、さらに多くのスタートアップが日本進出の際に大阪を選択いただけるものとする。

これまでは、インバウンド(ASEAN→関西)に関して 2 つのアプローチに取り組んできた。

1. イベントなどで関西の魅力を伝える
2. イベントでの ASEAN スタートアップと関西企業のマッチング

1 は間接的なアプローチであり、成果(関西進出)がいつになるのか、全く予想ができない。2 は ASEAN スタートアップの事業規模はさまざまであり、クロスボーダーマッチングを果たしたとしても、その経済効果は限定的と思われる場合が多かった。

そこで、すでに ASEAN で成功して規模が大きくなっていて、日本進出を検討中のスタートアップ企業に直接呼びかけ、関西に拠点を作ってもらうきっかけを作りたい。また、その際に、どのような条件があれば、関西を選んでもらえるのかを明らかにしていく。

参画団体・企業募集中。興味のある方々は連絡いただけますと幸いです。

PM 及び事務局からのご連絡とお願い

これまでスタートアップ部会の事務局で担当させていただいておりました京(きょう)が 1/1 付で出向元の東洋紡に帰任することになりました。これまでの活動へのご理解とご協力ありがとうございました。新たに村上(出向元:東洋紡)と松本(出向元:三井物産)が担当に加わりました。今後ともよろしくお願いたします。

興味のある案件、協力されたい具体的案件、貴団体からのご提案などございましたら、可能な限り、協力して活動させていただきたく存じます。気軽に以下のメールアドレスにご相談いただけますと幸いです。

E-mail: abcplatform@kankeiren.or.jp